

## 【めざす子ども像】

○よく考える子 ～ 主体的な学びを通じた確かな学力の育成 ～

**長期目標**  
令和4年度2学期末

### 【標準学力調査】(国語・算数)

○知識・技能/思考力/主体的に取り組む態度(考えを書く力)の点数を全国平均以上にする。

※特に、「書くこと」の「語と語、文と文の続き方」「句読点」「構成の効果」「事実、感想、意見の区別」「目的や意図に応じて書く」「引用」などの指導は、重点的に指導が必要。

相互

### 【標準学力調査】(i-check)

○「学習習慣・意欲」「生活習慣」を全国平均以上にする。

**短期目標**  
令和4年度1学期末

### 【チャレンジテスト 1学期末問題】

○国語・算数の平均正答率 ⇒ 全道平均以上

チャレンジテストは、情報を整理したり、解釈したりする力が必要です！日常の授業でも意識を！



相互

### 【健康チェックカード】

- 「ねた時刻」⇒ 75%以上
- 「メディアタイム」⇒ 85%以上
- 【家庭学習アンケート 肯定的な評価の割合】
- 「習慣」⇒ 85%以上
- 「時間」(学年×10分) 60%以上

## ☆ 日常の子どもの姿 【R3年度 CRT 分析から】

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇1A 文章に対する考えを伝え合い、自分の文章の内容や表現の良いところを見つけることができる。</li> <li>◇2A 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、伝えたいことを明確にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇3A 目的や意図に応じて書くこと、事実と感想、意見とを区別して書くことができる。</li> <li>◇4A 主語と述語に気を付けて正しく文章を読み取ったり、場面を説明したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇5A 話の中心を捉えながら話を聞き、自分の意見と比べながら、考えをまとめることができる。</li> <li>◇6A 事実と意見を区別して文章を読み取ったり、目的に応じて説明したりすることができる。</li> </ul>

### 【方策】

#### 学年団・少人数との連携

#### 保護者との連携

#### チームKとの連携

授業改善(研修)	日常的な授業	朝学習 チャレンジテスト	家庭学習 放課後学習	就寝時刻・メディアタイム
<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ子どもの育成～ICT機器を活用した学習展開を通して～</li> <li>対話的な学びを生む、問題場面や課題設定</li> <li>他者の考えを通して、自分の考えを広げ深める対話的な学習活動</li> <li>自分の学びの価値を見出す場の設定(授業力向上のための機会)</li> <li>教科担任制、見合う機会の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年計の活用(加除修正)</li> <li>シラバスの活用・実践</li> <li>振り返り活動の充実</li> <li>学習内容の定着</li> <li>授業の進め方の改善</li> <li>考えをもち伝え合う場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解答時間の厳密化</li> <li>解説、やり直しの場を設定</li> <li>繰り返しや習熟を図る場の設定</li> <li>各学年のニーズに合う問題提供</li> <li>分析をもとにした指導改善</li> <li>目的を明確にした計画実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出状況把握(個別指導)</li> <li>授業とつながる宿題重視</li> <li>家庭学習のプランニング</li> <li>家庭学習の交流の充実</li> <li>保護者との連携</li> <li>放課後学習を設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>i-check活用と振り返り</li> <li>個別指導</li> <li>保健だよりによる啓発</li> <li>情報モラルの指導</li> </ul> <p>(外部人材の活用)</p>